

青少年施設等の指定管理者の指定について

1 施設名称、指定候補者及び指定期間（各施設の概要は別紙）

(1) 青少年施設の指定管理者の指定（市第 118 号議案）

- ア 施設名称：横浜市野島青少年研修センター
 指定候補者：公益財団法人よこはまユース
 （指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日 ※ 5 年間）
- イ 施設名称：横浜市青少年育成センター
 指定候補者：公益財団法人よこはまユース
 （指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日 ※ 5 年間）

(2) 横浜市青少年野外活動センターの指定管理者の指定（市第 119 号議案）

- 施設名称：横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター・横浜市こども自然公園青少年野外活動センター・横浜市くろがね青少年野外活動センター（3 施設一体公募）
 指定候補者：公益財団法人横浜市体育協会
 （指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日 ※ 5 年間）

(3) 横浜こども科学館の指定管理者の指定（市第 120 号議案）

- 施設名称：横浜こども科学館
 指定候補者：コングレ・NTTファシリティーズ共同事業体
 （指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日 ※ 5 年間）

2 指定候補者の選定及び評価方法

(1) 選定方法

書類審査・プレゼンテーション・ヒアリング

(2) 応募資格確認

公募要項上の応募資格及び欠格事項等の確認

(3) 評価方法

基本方針・事業計画・管理運営等について、評価基準に基づき、総合評価を行いました。
 （評価については、各委員配点 100 点の 5 人合計 500 点満点で、最低基準点は 300 点）

3 指定候補者選定の経過

選定経過	野島青少年研修センター 青少年育成センター	青少年野外活動センター	横浜こども科学館
第 1 回選定評価委員会			
① 選定スケジュール	平成 27 年 6 月 2 日	平成 27 年 3 月 27 日	平成 27 年 6 月 3 日
② 公募要項・業務の基準・ 審査の基準			
公募書類の配布	平成 27 年 6 月 19 日 ～ 8 月 14 日	平成 27 年 4 月 30 日 ～ 7 月 3 日	平成 27 年 6 月 19 日 ～ 8 月 14 日
応募書類の受付	平成 27 年 8 月 10 日 ～ 8 月 14 日	平成 27 年 6 月 29 日 ～ 7 月 3 日	平成 27 年 8 月 10 日 ～ 8 月 14 日
第 2 回選定評価委員会			
① 公開プレゼンテーション	平成 27 年 9 月 25 日	平成 27 年 8 月 17 日	平成 27 年 9 月 18 日
② ヒアリング			
③ 指定候補者の選定			

4 選定評価委員会委員

(1) 野島青少年研修センター、青少年育成センター

- 委員長 福田 幸男 (横浜薬科大学 教授)
 委員 内海 宏 (特定非営利法人アクションポート横浜 理事)
 竹原 和泉 (横浜市立東山田中学校コミュニティハウス 館長)
 為崎 緑 (中小企業診断士)
 辻 弘枝 (特定非営利活動法人CAPかながわ)

(2) 青少年野外活動センター

- 委員長 福田 幸男 (横浜薬科大学 教授)
 委員 佐藤 初雄 (特定非営利活動法人 国際自然大学校 理事長)
 為崎 緑 (中小企業診断士)
 橋本ミチ子 (特定非営利活動法人 横浜にプレイパークを創ろうネットワーク 理事長)
 宮崎 弘一 (ボーイスカウト横浜市連合会 会長)

(3) 横浜こども科学館

- 委員長 北村 克久 (鎌倉女子大学 准教授)
 委員 内海 宏 (特定非営利法人アクションポート横浜 理事)
 為崎 緑 (中小企業診断士)
 三上 勇夫 (洋光台まちづくり協議会 会長)
 村井 良子 (有限会社プランニング・ラボ 代表取締役)

5 指定候補者選定結果

指定管理施設	指定候補者(第1位)	点数	次点候補者(第2位)	点数	第3位	点数
野島青少年研修センター	(公財)よこはまユース	379				
青少年育成センター	(公財)よこはまユース	371				
青少年野外活動センター	(公財)横浜市体育協会	408				
横浜こども科学館	コングレ・NTTファシリティーズ共同事業体	432	ルネ・サイエンス横浜共同事業体	358	(株)学研教育出版	262

※いずれの施設も第1位の応募団体が最低基準点の300点を上回ったため、指定候補者となりました。

6 選定評価委員会における指定候補者に対する評価及び意見

(1) 野島青少年研修センター

これまでの事業実績が高く評価されました。他施設と連携した長期宿泊プログラムについては、新たな利用者の獲得が期待できる内容になっているとの意見をいただきました。

(2) 青少年育成センター

施設の設置目的や役割を十分に理解していると評価されました。これまで蓄積した経験やノウハウを活かした取り組みに期待しているとの意見をいただきました。

(3) 青少年野外活動センター

長年に渡り施設を適切に管理運営しており、これまでの事業実績が高く評価されました。これまでの経験やノウハウを活かした計画は、優れた内容となっており、安定的に管理運営できると判断されました。

(4) 横浜こども科学館

現状の分析が的確になされており、課題解決のための具体的な事業展開が明確であると評価されました。今後は、コンテンツの入れ替えの仕組みづくりも検討し、さらに魅力ある事業の展開を期待したいとの意見をいただきました。

青少年施設等の概要

1 青少年施設

青少年の健全育成を図ることを目的に設置

施設名称	施設概要	指定管理料 (26年度)	延利用者数 (26年度)
①横浜市野島青少年研修センター	金沢区野島2-4-2 3,967 m ² 昭和53年設置(平成5年移転改築) 宿泊室(200人)、食堂、研修室、和室等	76,415千円	27,516人
②横浜市青少年育成センター	中区住吉町4-4-2-1 1,307.47 m ² 昭和61年設置(関内ホール地下) 研修室、ミーティングルーム、和室、スタジオ等	45,708千円	63,054人

2 青少年野外活動センター

青少年に自然環境における共同生活の場を提供することにより、その心身の健全な発達を図ることを目的に設置

施設名称	施設概要	指定管理料 (26年度)	延利用者数 (26年度)
①横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター	神奈川区三ツ沢西町3-1 1,150 m ² 昭和57年設置 宿泊室(150人)、プレイホール、食堂、炊事場等	25,148千円	24,685人
②横浜市こども自然公園青少年野外活動センター	旭区大池町6-5-1 1,489 m ² 平成元年設置 宿泊室(150人)、食堂、炊事場、集会場等	28,139千円	31,527人
③横浜市くろがね青少年野外活動センター	青葉区鉄町1-3-80 400 m ² 昭和57年設置 宿泊室(50人)、食堂、炊事場、テント広場等	23,181千円	20,629人

3 横浜こども科学館

科学に関する資料及び装置の展示等を行うことにより、青少年の科学に関する知識の啓発を図り、創造性豊かな青少年の育成に寄与することを目的に設置

施設名称	施設概要	指定管理料 (26年度)	延利用者数 (26年度)
横浜こども科学館	磯子区洋光台5-2-1 6,486.26 m ² 昭和59年設置 宇宙劇場、特別展示室、宇宙研究室等	210,608千円	295,485人